



# 響け！平和の音色 チャリティーコンサート in 仙台尚絅学院

2010年 **8/22**日

13:30 開場・14:00 開演(16:00 終演予定)  
尚絅学院中学校・高等学校礼拝堂  
参加費無料！ ※当日チャリティー募金をお願いする予定です。

～Program～ (予定)

＜ピアノ演奏＞ 小川 祐弥さん  
・J.S.バッハ作曲／イタリア協奏曲 BWV.971  
・J.S.バッハ＝F.ブゾーニ作曲／シャコンヌ  
ヴァイオリンの為のバルティータ BWV.1004より  
・F.ショパン作曲／3つのマズルカ op.59

＜ソプラノ＞ 高橋 絵里さん

・カッチーニ作曲／アヴェ・マリア

＜合唱＞

尚絅学院中学・高等学校合唱団

・コダーイ作曲／天使と羊飼

尚絅学院音楽教室少年少女合唱団

・「美しい大地は」讃美歌

【小川 祐弥さんのプロフィール】

洗足学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業、同大学音楽専攻科ならびにピアノ演奏研究所を修了。尚絅学院中学校・高等学校の教師

【高橋 絵里さんのプロフィール】

声楽家。宮城学院女子大学音楽科声楽専攻卒業。アムステルダム音楽院に留学。古楽科においてルネサンス、バロック期を中心とした声楽を学び、2002年ポストグラデュエイトディプロマを取得し卒業。尚絅音楽教室合唱団講師。

まっばようこ  
「松葉暉子さんの被爆ピアノ」

1945年8月6日8時15分、広島市。爆心地から3kmの距離にあった暉子さんの自宅も、原爆の被害を受けました。幸運にも暉子さんは、家から離れていて無事でした。



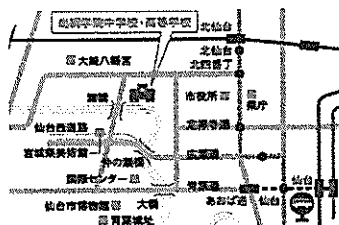
自宅の全壊は免れたものの、家具は散乱し、嫁入り道具のピアノは強烈な爆風でなぎ倒され、ガラスの破片が裏面に突き刺さりました。

「手放そうと思ったことは一度もないんです。」痛々しいながらも何とか音が出るそのピアノを、暉子さんは修復し、夫亡き後も大切に守ってきました。被爆ピアノは演奏できる状態にするということで、被爆で受けた傷は残しながら、元々の素材を生かして仕上げられています。

このコンサートでは「被爆ピアノ」の奏でるメロディーを聞きながら、皆さんと核兵器廃絶を願い考えたいと思います。

この暉子さんの「被爆ピアノ」の美しい音色が、ニューヨークの平和コンサートで、世界の人々の心に届くように、皆さんのご支援をお願いします。

(※暉子さんは2003年から仙台市在住)



【会場までのアクセス】

- ・地下鉄「北4番丁駅」下車(徒歩20分)
- ・市営バス 仙台駅前発(大学病院前経由)「交通公園」行き—尚絅前下車
- ・宮城交通 仙台駅前発(大学病院経由)「川内」行き—尚絅前下車

- 主催 国際平和デー被爆ピアノ平和コンサート仙台実行委員会(宮城県生活協同組合連合会・みやぎ生協・みやぎ憲法九条の会等)
- 後援 尚絅学院中学校・高等学校・(財)日本ユニセフ協会宮城県支部・宮城県原爆被害者の会
- お問い合わせ 宮城県生活協同組合連合会 担当/野崎和夫 TEL022-276-5162 FAX022-276-5160

整理券

被爆ピアノ チャリティーコンサート in 仙台尚絅学院

[日時] 2010年8月22日(日) 13:30 開場 14:00 開演 [会場] 尚絅学院中・高等学校礼拝堂

お名前 (他人参加) ※当日この券をお持ち下さい。